

令和 8 年度

業 務 設 計 書

業 務 名 羽田井地区電気探查業務委託

業務場所 西伯郡大山町羽田井

鳥取県 西伯郡 大山町全図

羽田井地区電気探査業務委託



記号		記号	
—— (幅員13.0m以上の道路)	● 町・役場	—— 石	田
—— (幅員5.5m～13.0mの道路)	○ 同支所及び分庁	—— 段	田
—— (幅員3.0m～5.5mの道路)	○ 官公署(特定の記号のないもの)	—— 田	田
—— (幅員1.5m～3.0mの道路)	✱ 営林署	—— 田	田
—— (幅員1.5m未満の道路)	✱ 測量所	—— 田	田
—— (国道および路線番号)	✱ 駐在所・派出所	—— 田	田
—— (庭園路等)	✱ 消防署	—— 田	田
—— (建設中の道路)	✱ 郵便局	—— 田	田
—— (有料道路および料金所)	✱ 工場・倉庫	—— 田	田
—— (単線 駅 複線以上)	✱ 発電所・変電所	—— 田	田
—— (JR線)	✱ 小・中学校	—— 田	田
—— (JR線)	✱ 重要港	—— 田	田
—— (地下鉄)	✱ 地方港	—— 田	田
—— (トンネル)	✱ 漁港	—— 田	田
—— (路面の鉄道)	✱ 保育所	—— 田	田
—— (橋および高架部)	✱ 公民館	—— 田	田
—— (切取)		—— 田	田
—— (盛土)		—— 田	田
—— (送電線)		—— 田	田

大山町水道課

調査業務仕様書

この仕様書は、「羽田井地区電気探査業務委託」に関する仕様書であり、大山町業務請負契約書並びに鳥取県土木仕様書、鳥取県測量業務共通仕様書、(公社)地盤工学会「地盤調査の方法と解説」によるものとする。

【目的】

現在の取水・導水施設のうち、導水管(L=1.2 km)は石綿管で耐震性が乏しく、更新及び耐震化には多大な金額が必要となるため、供給先である第 4 配水池周辺で水源開発ができれば既設導水管を更新するより経済的になることから、電気探査調査により、その可能性を探ることを目的とする。

(調査業務)

第 1 条 委託業務の内容は下記のとおりである。

電気探査(調査業務)

1)観測

探査方法は、比抵抗 2 次元探査法によるものとし、電極間隔 W=10m もしくは 5m として 2 極法により観測を実施する。この際は、測定と同時にデータの異常確認が可能な機種を用いるものとし、測定データの品質管理に努めること。

2)測線設定

測線長は $\Sigma L=1,300m$ (3 測線)、探査深度 S=120m 程度を想定している。計画準備のあと、発注者との協議のもとに決定する。なお、2 次元探査での測線長は、探査対象深度の 1.5～2 倍程度を目安として設定する。

(解析業務)

第 2 条 委託業務の内容は下記のとおりである。

電気探査(コンサルティング業務)

1)計画準備

与条件や既往資料、現地踏査結果に基づいて測定計画の立案と作業準備を行う。

2)資料検討

地形、地質、既往調査資料などを精査して、調査対象地に関する情報収集を行い、探査計画の立案と作業準備を行う。

3)解析

観測データから見掛け比抵抗断面図を求める。次に、これを初期データとして、理論モデルとの差が最小となるようなアルゴリズムに基づいて逆解析を行い、真の比抵抗構造を反映したモデルを推定する。

4)報文執筆

一連の調査・解析結果を取りまとめて報文を執筆する。

(成果品)

第 3 条 成果品の内容は下記のとおりである。

1 調査報告書 2 部

2 電子データ 1 式

(協議)

第 4 条 本仕様書に明記がない事項及び疑義が生じた場合は、その都度協議し、委託者の指示に従うものとする。

羽田井地区電気探査業務

費 目	工 種	種 別	細 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電気探査費								L = 1.3km (3測線)
	コンサルティング業務費							
		計画・準備費		業務	1			第1号単価表
		現地踏査資料検討費		式	1			第2号単価表
		データ処理・解析費		式	1			第3号単価表
		報告書作成		式	1			第4号単価表
		打合せ協議		業務	1			第7号単価表
	直接人件費計							
		直接経費		式	1			第3号単価表
		電子成果品作成費		式	1			
	直接原価			式	1			
	その他原価			式	1			
	一般管理費等			式	1			
	コンサルティング業務費計							

羽田井地区電気探査業務

[illegible]

羽田井地区電気探査業務

費 目	工 種	種 別	細 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	電気探査費							
		コンサルティング業務費		式	1			
		調査業務費		式	1			
		合 計						
		消費税額		%	10			
		業務費計						
		西伯郡大山町羽田井地区						
		電気探査：比抵抗法 2 次元探査 3測線 L=1300m						
		探査深度：120m 電極間隔：10m 地形：平地～丘陵地						
		全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和7年度改定版 IV-30～34						

第 1 号 单 价 表

計画・準備費（電気探査）

1 業務当り

[illegible]

第 2 号 单 价 表

現地踏査資料検討費（電気探査）

1 km当り

[illegible]

深度 120m (間隔10m)

1 km当り

[illegible]

第 4 号 单 价 表

報告書作成

1 業務当り

[illegible]

第 5 号 単 価 表

深度 120m (間隔10m)

測定費 (電気探査)

1 km当り
(平地～丘陵地)

項 目	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接人件費							
	地質調査技師		人	8.00			
	主任地質調査員		〃	8.00			
	地質調査員		〃	12.00			
	計						
材料費							
	充電料		回	5.00			
	地表用等間隔ケーブル損耗		式	0.05			
	電極損耗		本	5.00			
	消耗品		式	1.00			材料費計の10%
機械損料	電気探査器		日	4.00			
	パソコン		〃	5.00			
	計						
	合 計						
		測線長：1.3km	1.30				
		平地～丘陵地	0.85				
				補正係数 1.10			

深度 120m (間隔10m)

1 km当り

測線設定費（電気探査）

[illegible]

第 7 号 单 价 表

打合せ協議

1 業務当り

[illegible]

